

# 指定管理者評価結果について

	頁
○評価の概要	1～2
○個票	
A部会	
1. 総括評価（5段階評価）	
①スポーツ	
大分県リバーパーク犬飼	3
大洲総合運動公園、大分県立総合体育館	4
2. 年次評価（所見評価）	
①スポーツ	
大分スポーツ公園、高尾山自然公園	5
大分県立庄内屋内競技場	6
②農林業振興	
大分農業文化公園、大分県都市農村交流研修館	7
大分県林業研修所	8
③港湾・公営住宅	
別府港機械管理駐車場・県営3号上屋・石垣地区緑地	9
大分港大在コンテナターミナル	10
別府港北浜ヨットハーバー	11
県営住宅等	12
B部会	
1. 中間評価（5段階評価）	
④文化・コンベンション	
大分県立総合文化センター、大分県立美術館	13
2. 年次評価（所見評価）	
④文化・コンベンション	
大分県立別府コンベンションセンター	14
⑤レクリエーション	
大分県長者原オートキャンプ場、大分県長者原園地	15
おおいた動物愛護センタードッグラン・多目的広場	16
大分県青少年の森、大分県平成森林公園、大分県神角寺展望の丘	17
ハーモニーパーク	18
⑥社会福祉	
大分県社会福祉介護研修センター	19
大分県母子・父子福祉センター	20
大分県聴覚障害者センター	21
大分県身体障害者福祉センター	22

## 評価の概要

### 1 評価の視点

- (1) 施設の設置目的に沿った取組（サービスの向上等）が行われたか
- (2) 経費の節減など効率性の向上が図られたか
- (3) 公の施設にふさわしい適正な（適法性、安全性等）管理運営が行われたか

#### 【指定管理者評価部会】

区分	氏名		役職等	備考
A部会 ①スポーツ ②農林業振興 ③港湾・公営住宅	部会長	佐野 真紀子	(株) 日本政策投資銀行大分事務所 副調査役	行財政改革推進委員会委員
	委員	坂元 英毅	日本文理大学 経営経済学部 准教授	
		炭本 典生	中小企業診断士	
B部会 ④文化・コンベンション ⑤レクリエーション ⑥社会福祉	部会長	岩崎 美紀	中小企業診断士	行財政改革推進委員会委員
	委員	高橋 智秀	社会福祉法人みずほ厚生センター 事務局長	
		木下 英朗	(有) メガネの正視堂 代表取締役	

(敬称略)

### 2 評価手法・区分

指定期間の経過年数に応じた評価手法を用い、自己評価と外部評価の2段階評価を実施

種類	時期	概要
5段階評価	総括評価	5年度目（指定期間の最終年度）
	中間評価	2年度目
年次評価（所見評価）	それ以外の年度	所見を記した文章により評価する。

(参考1：評価ランクの設定)

区分	点数	評価
A	90～100点	良好である
B	80～89点	概ね良好である
C	60～79点	普通である
D	40～59点	努力が必要である
E	0～39点	かなり努力が必要である

- (1) 自己評価(所管課による評価) : 5/31～6/26
- (2) 外部評価(指定管理者評価部会による評価：所管課評価を検証) : A部会 8/9・19、B部会 8/23・9/6
- (3) 評価結果を行財政改革推進委員会に報告、公表 : 11/25
- (4) 評価結果及び委員の意見等を指定管理者・施設所管課にフィードバック : 12月上旬(予定)

(参考2：評価項目と配点)

項目	配点
目標指標の達成等、設置目的の達成	20
利用者の満足度	20
経費の低減	20
収入の増加	10
職員育成、地域等との連携	15
平等利用、安全・危機管理	15
計	100

※施設特性に応じて配点方法は異なる

### 3 評価対象

指定管理者制度を導入している施設(26施設※) + 管理代行制度を導入している施設(県営住宅：1施設)

施設種別	施設数	指定管理者数	5段階評価				所見評価
			総括評価		中間評価		
			計	C	計	B	
①スポーツ	6	4	2	2			2
②農林業振興	3	2					2
③港湾・公営住宅	4	4					4
④文化・コンベンション	3	2			1	1	1
⑤レクリエーション	7	4					4
⑥社会福祉	4	4					4
計	27	20	2	2	1	1	17

※平成31年3月31日現在

### 4 評価結果の取扱い

- (1) フィードバック：評価結果については、指定管理者にフィードバックすることにより、県民サービス及び業務効率性の一層の向上と公の施設にふさわしい適正な管理運営の確保を図る。
- (2) インセンティブ：総括評価において「A」または「B」ランクの評価を受けた指定管理者に対しては、次期の指定管理候補者選定委員会における各選定委員の採点(100点満点)に得点加算を行う(「A」ランク：10点加算、「B」ランク：5点加算)。

一方、「E」ランクの評価を受けた指定管理者については、改善状況を県において評価・検討し、その結果、次回選定しないこともあり得る。

令和元年度 指定管理者の管理運営に対する指定管理者評価部会の評価 個票

1 総括評価(5段階評価:指定期間最終年度)

施設種別	施設名等	評価段階	評価項目(得点/配点)						合計得点	評価ランク
		所管課評価 部会評価	目標指標等 設置目的の達成	利用者の 満足度	経費の低減	収入の増加	職員育成 地域等連携	平等利用 安全・危機管理		
① スポーツ	【施設名(指定期間)】 大分県リバーパーク犬飼 (H30.4.1~R2.3.31)  【指定管理者】 豊後大野市  【担当部局】 土木建築部	所管課評価	12/20	16/20	16/20	6/10	12/15	12/15	74	C
		部会評価	12/20	12/20 ↓	16/20	6/10	12/15	12/15	70 ↓	C
		<p>【評価】</p> <p>1. 課題であった多目的グラウンドの芝を良好に管理している点は評価できるが、特定の利用者が多い状況で、アンケートのサンプル数や対象が不十分であり、幅広い意見収集ができていない。</p> <p>【意見】</p> <p>1. 管理棟の展示を見直すなど、<u>利用者の良い印象を与える施設管理に努めてほしい。</u></p> <p>2. 施設に行くまでの経路が分かりにくく、<u>誘導案内を見直すべきである。</u></p> <p>【施設所管課に対する意見】</p> <p>1. 一緒に来る家族といった施設利用者以外の来場者をアンケート対象にするなど、<u>より広い意見が施設の改善につながる調査手法を指定管理者とともに検討してほしい。</u></p> <p>【対応案】</p> <p>1. 管理棟は利用者が最初に訪れる施設であり、管理棟の雰囲気は施設全体の印象が左右される重要な施設と考えている。<u>現在、豊後大野市所管の施設は、オートキャンプ場等のアウトドア施設に改修中であり、管理棟についても、ホールの面積を広げ、床、壁、天井、照明等を全面改修することとしている。ご意見をいただいた展示物についても利用者に好印象を持っていただけるよう内容を検討していく。</u></p> <p>2. <u>施設案内標識は、国道326号線からの入り口とその先に1箇所設置している。今後、オートキャンプ場を利用する県外利用者の増加も見込まれることから、スムーズに来園できるよう増設を検討していく。</u></p> <p>【施設所管課に対する意見対応案】</p> <p>1. <u>今後は利用団体の代表者のみならず、より幅広い意見収集を行うために対象者を検討するとともに、アンケート項目についても市所管施設を含めた施設全体を評価する質問項目を追加するなど民間指定管理者及び市と検討していく。</u></p>								

1 総括評価(5段階評価:指定期間最終年度)(続き)

施設種別	施設名等	評価段階	評価項目(得点/配点)					合計得点	評価ランク	
		所管課評価 部会評価	目標指標等 設置目的の達成	利用者の 満足度	経費の低減	収入の増加	職員育成 地域等連携			平等利用 安全・危機管理
評価結果及び指定管理者評価部会の意見										
① スポーツ		所管課評価	12/20	16/20	16/20	6/10	12/15	12/15	74	C
		部会評価	12/20	12/20 ↓	16/20	6/10	12/15	12/15	70 ↓	C
<p>【評価】</p> <p>1. <b>施設の大規模改修中でありながらも利用者数の目標値を達成している点は評価できるが、利用者数に対してアンケートのサンプル数が少なく、利用者の意見を十分にくみ上げているとは言えない。</b></p> <p>【意見】</p> <p>1. 体育館について、従来型のスポーツ利用にとどまらず、<b>eスポーツなどの新たな分野での施設利用も検討してはどうか。</b></p> <p>2. 休日に加えて平日についても、体育館の稼働率を上げる取組をさらに進めてもらいたい。</p> <p>3. ウォーキングに来る公園利用者と「おおいた歩得（あるとつく）」の連携を考えてみたらどうか。</p> <p>【施設所管課に対する意見】</p> <p>1. 施設ごとにアンケート調査・分析を行い、利用者の意見が<b>施設の改善につながる調査手法を指定管理者とともに検討する必要がある。</b></p> <p>【対応案】</p> <p>1. <b>新たな分野での施設利用促進の一環として、無料開放デー（2019年10月14日）にeスポーツ体験会を実施し、130人が参加した。今後も体験会を実施し、教室の開催につなげたい。また、子ども将棋教室や高齢者向け健康マージャン教室等を自主事業として実施しており、引き続き、利用者の増加に努めたい。</b></p> <p>2. 現在、平日の稼働率の低い施設については、自主事業の展開により稼働率のアップを進めているが、加えて幼稚園や保育園への案内を増やすため、令和2年1月以降は営業を行い、園児の遊戯場や育成などの場として、利用の促進を図りたい。</p> <p>3. 県の関係課と協議して、「おおいた歩得（あるとつく）」との連携を検討する。また、「おおいた歩得（あるとつく）」をホームページや窓口で周知し、利用者の増加に努めたい。</p> <p>【施設所管課に対する意見対応案】</p> <p>1. <b>アンケート結果の分析には、まず母数を増やすことが重要であるため、アンケートの実施時期及び期間の見直しを検討し回収数の増加に努める。また、アンケート結果をクロス集計し施設ごとに分析を行うことにより、各施設の利用者ニーズを把握し今後の施設改善につなげていきたい。</b></p>										

2 所見評価(指定期間初年度、3～4年度目:文章による評価)

施設種別	施設名等	評価結果及び指定管理者評価部会の意見
① スポーツ	<p>【施設名(指定期間)】 大分スポーツ公園 高尾山自然公園 (H26.4.1～H31.3.31)</p> <p>【指定管理者】 (株)大直</p> <p>【担当部局】 土木建築部</p>	<p>【評価】</p> <p>1. 積極的なイベント誘致や自主事業の実施により集客できていることは評価できる。今後はさらに広く県民が日常的に利用できる運営にも積極的に取り組んでいただきたい。</p> <p>【意見】</p> <p>1. <b>利用者数に対してアンケートのサンプル数が少ない。</b>アンケートの内容の見直しも含め、取り方を改善する必要がある。</p> <p>2. ドームのイベントを自然公園に広げたり、トリニータの試合の前後にロッカールーム見学ツアーといった催しを企画するなど、ドームと他の施設との連携や大規模イベントの効果を波及させる取組も検討してはどうか。</p> <p>3. トリニータの試合などで、遠い駐車場からドームに行くまでの道のりを楽しめる工夫はできないか。</p> <p>【施設所管課に対する意見】</p> <p>1. 施設ごとにアンケート調査・分析を行い、利用者の意見が<b>施設の改善につながる調査手法を指定管理者とともに検討する必要がある。</b></p> <p>2. 大規模イベント開催時に会場から近い場所に駐車台数を増やす方法を検討できないか。</p> <p>【対応案】</p> <p>1. <b>サンプル数については毎年、例年以上の人数に協力いただくべく取り組んでおり年々増加の一途をたどっている。回収方法としては、アンケートボックス設置やインターネットでの展開だけではなかなかサンプル数が伸びず、各職員が個別に来場者に協力をお願いしていくことで増やしているのが現状である。この方法をこれからも踏襲しながら、前年以上の回収に努めたい。また、より多くの意見が寄せられるよう実施時期及び期間の見直しを検討したい。なお、内容については、公園・生活排水課と協議の上決定したい。</b></p> <p>2, 3. イベントの効果を波及させる取組を行うには主催者の協力が不可欠となることから、主催者と連携の上実施していくことを検討したい。また他の施設との連携については、近隣施設であるパークプレイスと引続き情報交換を行い、タイアップイベント実現に向け要請をしていく。</p> <p>【施設所管課に対する意見対応案】</p> <p>1. <b>アンケート結果の分析には、まず母数を増やすことが重要であるため、アンケートの実施時期及び期間の見直しを検討し回収数の増加に努める。また、アンケート結果をクロス集計し施設ごとに分析を行うことにより、各施設の利用者ニーズを把握し今後の施設改善につなげていきたい。</b></p> <p>2. ドームに近い園内の駐車場増設は、公園計画の変更に加え多額の予算を伴う土地の造成が必要であり現段階では困難と考えているが、大分スポーツ公園に近接するおかばる花公園周辺への駐車場整備について、県都大分市交通円滑化検討会において検討していく。なお、2.5万人を超える集客が予想されるイベントについては、渋滞対策会議を開催した上で主催者への指導助言を行っていく。</p>

2 所見評価(指定期間初年度、3～4年度目:文章による評価)(続き)

施設種別	施設名等	評価結果及び指定管理者評価部会の意見																
① スポーツ	<p>【施設名(指定期間)】 大分県立庄内屋内競技場 (H26.4.1～H31.3.31)</p> <p>【指定管理者】 由布市</p> <p>【担当部局】 教育庁</p>	<p>【評価】</p> <p>1. 地元高校のライフル射撃部が利用し、競技力向上につながっていることは評価できる。</p> <p>【意見】</p> <p>1. 契約見直しによる電気料削減など経費縮減に努めているが、赤字は由布市民の負担となることも踏まえ、<b>収支赤字を看過せず、利用者の負担のあり方も含めて、計画的に収支の改善を図るべきである。</b></p> <p style="text-align: center;">(単位:千円)</p> <table border="1" data-bbox="521 459 960 611"> <thead> <tr> <th></th> <th>H28年度</th> <th>H29年度</th> <th>H30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>収入</td> <td>1,950</td> <td>2,062</td> <td>2,007</td> </tr> <tr> <td>支出</td> <td>2,475</td> <td>2,778</td> <td>2,177</td> </tr> <tr> <td>収支差額</td> <td>▲ 525</td> <td>▲ 716</td> <td>▲ 170</td> </tr> </tbody> </table> <p>2. ビームライフルの試射会といった初心者に参加しやすいイベントを開催するなど、県民にもっと射撃競技を知ってもらおう施設であるべき。多くの県民に施設を知ってもらい、<b>利用者の裾野を広げる取組を検討してほしい。</b></p> <p>【対応案】</p> <p>1. <b>支出面では、利用団体への周知や節電、節水の張り紙をすることで今まで以上に節電や節水に努め、経費の縮減を図りたい。収入面では、利用の多い競技団体と利用者負担の見直しについて協議を行い、収入の増加を図りたい。</b></p> <p>2. <b>第34回はさまきちよくれ祭り(11/9～11/10)など各種のイベント会場でビームライフル体験会を催し、67人が参加した。今後も「ならねっ子祭」など様々なイベントに併せて、射撃競技に興味、関心を持ってもらう活動を行う。また、県、市のホームページや市報等を活用し、屋内競技施設を広く県民に広報し、利用の推進を行う。</b></p>		H28年度	H29年度	H30年度	収入	1,950	2,062	2,007	支出	2,475	2,778	2,177	収支差額	▲ 525	▲ 716	▲ 170
	H28年度	H29年度	H30年度															
収入	1,950	2,062	2,007															
支出	2,475	2,778	2,177															
収支差額	▲ 525	▲ 716	▲ 170															

2 所見評価(指定期間初年度、3～4年度目:文章による評価)(続き)

施設種別	施設名等	評価結果及び指定管理者評価部会の意見
<p>② 農林業振興</p>	<p>【施設名(指定期間)】 大分農業文化公園 大分県都市農村交流研修館 (H28.4.1～R3.3.31)</p>	<p>【評価】</p> <p>1. イベントの開催やホームページ等での情報発信、園内の手入れなど、非常によく集客努力をしていることは評価できる。</p> <p>【意見】</p> <p>1. 平日の集客には限界がある。試験研究機関と連携した施設の活用など他の用途も検討するべきではないか。</p> <p>2. 園内農産物を使ったメニューを提供するなど、園のコンセプトに沿ったフードコートの運営を検討するべきである。</p> <p>3. 老朽化が目立つ設備の撤去や修繕など、あまり費用をかけずにできるものについては早急に対応した方がよい。</p> <p>4. 親しみを感じられる施設のニックネームを公募してはどうか。</p> <p>5. 施設によってアンケート内容を変えたり、ホームページに意見記載欄を作るなど、様々な方法で利用者の声を聴くとともに、<u>利用者の属性等のデータも取れる工夫をさらにしてほしい。</u></p> <p>6. <u>ホームページや園内の多言語対応を進めてもらいたい。</u></p> <p>【施設所管課に対する意見】</p> <p>1. 広い園内の猛暑対策や遊具の充実など、<u>利用者の利便性向上につながる設備投資について検討してほしい。</u></p> <p>2. 幼児が遊べる遊具が奥地にあり、トラムカーでも行けない。幼児用の遊具は入り口近くに設置した方がよい。</p>
	<p>【指定管理者】 (公社)大分県農業農村振興公社</p> <p>【担当部局】 農林水産部</p>	<p>【対応案】</p> <p>1. <u>県の試験研究機関と連携して、花きの大規模な試験生産など公園園場の利活用等を検討していきたい。</u></p> <p>2. フードコートについては、現状の厨房施設では本格的な料理の提供ができないことから、<u>園内農産物を使ったオリジナルソフトクリームなど軽食メニューの開発を進めている。</u>しいたけカレーなどの既存メニューについても、<u>園内農産物を使用していることが利用者にはわかるよう表記を工夫しPRしていきたい。</u></p> <p>3. ベンチへの防腐剤塗布やゴミ箱が錆びた部分を修理する等、費用をかけずにできるものについては、早急に対応したい。</p> <p>4. 施設にかかるニックネームの必要性や効果については、今後検討していきたい。</p> <p>5. <u>公園ホームページ上に意見記載欄を掲載し、幅広く利用者の意見を募るほか、イベント時などに入園者から直接意見の聞き取り調査を行うなど新たなアンケート手法に取り組みたい。</u></p> <p>6. <u>看板等の多言語表示については、遅くとも令和2年度中に対応したい。園内マップ等は、随時多言語化に努めていきたい。</u></p> <p>【施設所管課に対する意見対応案】</p> <p>1. <u>猛暑対策としては、パラソルの設置の他、園内に桜やもみじなど見所となる木を植樹し、木陰作りと見所作りに取り組みたい。また遊具については、木製遊具の設置や迷路等の制作などにより、屋内施設にある「木と子どものエリア」を充実させ、猛暑や雨天時の対策へとつなげる取組を検討したい。</u></p> <p>2. 大型連休など人が集まる時期については幼児用の遊具がある「風のリズム広場」付近まで行けるようにトラムカーの動線の変更を行うなど、利用者の利便性の向上を図っていききたい。</p>



2 所見評価(指定期間初年度、3～4年度目:文章による評価)(続き)

施設種別	施設名等	評価結果及び指定管理者評価部会の意見
② 農林業振興	<p>【施設名(指定期間)】 大分県林業研修所 (H28.4.1～R3.3.31)</p> <p>【指定管理者】 (公財)森林ネットおおいた</p> <p>【担当部局】 農林水産部</p>	<p>【評価】</p> <p>1. 施設稼働率がよく、研修内容も充実していて、現時点での方向性は問題ない。長年、無事故で運営している点も評価できる。</p> <p>【意見】</p> <p>1. なし。</p> <p>【施設所管課に対する意見】</p> <p>1. 林業の担い手確保や技術の向上など研修所が果たしている(果たすべき)役割や機能について常に検証し、公表していくべきである。</p> <p>【施設所管課に対する意見対応案】</p> <p>1. 県ホームページで研修所の目的や方針、次年度の研修計画を示した「林業研修要領」を毎年3月に公表している。林業の担い手確保や技術の向上など研修所が果たしている役割や機能についても今後毎年検証し、結果を林業研修要領に記載して公表していく。</p>

2 所見評価(指定期間初年度、3～4年度目:文章による評価)(続き)

施設種別	施設名等	評価結果及び指定管理者評価部会の意見
<p>③ 港湾・公営住宅</p>	<p>【施設名(指定期間)】 別府港機械管理駐車場・ 県営3号上屋・石垣地区緑地 (H26.4.1～H31.3.31)</p> <p>【指定管理者】 (株)おおいた観光サービス</p>	<p>【評価】</p> <p>1. <b>暗くて、展示も古く、大阪からの玄関口と感じられない。フェリー乗降客が目的地に行くまでのシームレスなおもてなしのあり方を考え、抜本的に取り組むべきである。</b></p> <p>【意見】</p> <p>1. 駐車場利用者へのアンケートは不要。フェリー乗降客などからアンケートを取り、<b>3号上屋を利用する人の目線から施設の利活用等の改善に抜本的に取り組むべきである。</b></p> <p>2. 2階のショーケースの陳列が陳腐化していて、施設の印象が良くない。1階のお土産品サンプル展示場も寂れた感じで、RWCを間近に控え、観光都市にふさわしい施設へと早急に改善するべきである。</p> <p>3. eスポーツ大会などの単発的なイベント開催に加え、フェリー乗降客が再び訪れたいと思うような玄関口としての取組を検討・実施するべきである。</p> <p>【施設所管課に対する意見】</p> <p>1. 別府港再編計画が実現されるまでは当面使用されることとなるため、<b>玄関口にふさわしい施設の改善を、外部からのアイデアも取り入れながら、観光部局等とも連携して検討するべきである。</b></p>
	<p>【担当部局】 土木建築部</p>	<p>【対応案】</p> <p>1. <b>本年9月より乗降客へのアンケートを実施している。また、当該意見をもとに、県と連携して施設の利活用の改善を図っていききたい。</b></p> <p>2. 本年9月に展示方法や展示品の見直しを行い、RWC及び観光PRなどの強化を図った。また、RWC閉幕後も、適宜、展示品等の改善を行い、タイムリーな観光PRを行っていく。</p> <p>3. 県・別府市の関係機関、外部有識者等と連携し、乗降口での観光PRの強化など、フェリー乗降客をターゲットとした取組みを実施していききたい。</p> <p>【施設所管課に対する意見対応案】</p> <p>1. <b>県・別府市観光部局及び(公社)ツーリズムおおいた、その他多方面からのアイデアも取り入れながら、別府港再編計画の実施も見据えた形での施設の改善を検討していききたい。</b></p>

2 所見評価(指定期間初年度、3～4年度目:文章による評価)(続き)

施設種別	施設名等	評価結果及び指定管理者評価部会の意見
③ 港湾・公 営住宅	<p>【施設名(指定期間)】 大分港大在コンテナターミナル (H26.4.1～H31.3.31)</p> <p>【指定管理者】 (株)大分国際貿易センター</p> <p>【担当部局】 土木建築部</p>	<p>【評価】</p> <p>1. 新規コンテナ獲得のために積極的に企業訪問をし、取扱量増加に貢献している点は高く評価できる。</p> <p>【意見】</p> <p>1. 津波対策、特に避難誘導等の人命確保の取組の充実をお願いする。</p> <p>【施設所管課に対する意見】</p> <p>1. 県、指定管理者それぞれの強みを活かしたセールスを戦略的に進めてほしい。 2. 利用転換促進助成金のような効果がある制度は積極的にPRするべき。また、顧客のニーズをくみ取り、新たなメニューを増やすなど、制度の柔軟な対応をしてほしい。</p> <p>【対応案】</p> <p>1. 例年、1月に施設入居者及びコンテナターミナルの作業員等を対象に、南海トラフ巨大地震による大津波が到達することを想定し、避難場所に指定している「城原展望台」への避難を誘導する防災訓練を実施している。今後も、災害時の指示体制や避難経路等の周知、人命を第一に考えた行動を取るよう、防災意識の啓発や訓練に取り組んでいく。</p> <p>【施設所管課に対する意見対応案】</p> <p>1. 県は、県外の企業本社や商社、県内の協議継続企業などへのセールス、セミナーの開催といった広範囲なセールスを行なっている。また、指定管理者は、現場（大在CT）で得られる情報や事務局を務める大分県貿易協会が持つ情報などを活用し、県内荷主を中心に、新規荷主・貨物の情報収集及び獲得に向けたセールスを行なっており、今後とも県と指定管理者が連携し、戦略的なセールスに努めたい。 2. 助成制度のPRについては、大在CTのホームページやパンフレットで周知するとともに、企業訪問時にPRを行なっている。また、企業の本社や荷主に代わり貿易手続きを行なうフォワーダーが多い東京都でのポートセミナー開催など、広域的なPRも行なっている。さらに、大在CTの利用促進のため、荷主や船社などのニーズを踏まえた新たな対応策を検討している。</p>

2 所見評価(指定期間初年度、3～4年度目:文章による評価)(続き)

施設種別	施設名等	評価結果及び指定管理者評価部会の意見
<p>③ 港湾・公 営住宅</p>	<p>【施設名(指定期間)】 別府港北浜ヨットハーバー (H28.4.1～R3.3.31)</p> <p>【指定管理者】 (株)ササキコーポレーショ ン</p> <p>【担当部局】 土木建築部</p>	<p>【評価】</p> <p>1. <b>短期的・長期的に何をすべきか明確に理解し、良好な管理運営がなされていることは高く評価できる。</b></p> <p>【意見】</p> <p>1. 近隣ホテルと連携したクルーズや大型船の受入なども視野に入れ、さらに取組を広げてもらいたい。</p> <p>【施設所管課に対する意見】</p> <p>1. <b>海外富裕層の利用が増え、ニーズもあるので、施設を拡張することを検討してほしい。</b>また、指定管理者から要望のあるクラブハウスの新設についても、誘客につながるヨットハーバーにふさわしい施設だと思われるので前向きに検討してほしい。</p> <p>2. 別府港再編計画が及ぼす影響等を見据え、今後、ヨットハーバーをどういう位置づけにしていくのか、目指す方向性や新たな取組について検討してほしい。</p> <p>3. 背後に温泉地があり、利用者ニーズ(係船率)も高いことから、電圧不足解消など比較的小規模な修繕は早急に対応を検討するべきである。</p> <p>【対応案】</p> <p>1. 利用者に対する近隣ホテルの紹介等は現在も実施しているが、ホテルと連携したPR等、さらなる取組を実施していきたい。</p> <p>【施設所管課に対する意見対応案】</p> <p>1. <b>引き続き指定管理者と連携し、アンケート等によって利用者の声を丁寧にくみ取り、必要な対応を検討していきたい。</b></p> <p>2. 今後、別府港再編計画に取り組む中で、外部有識者の意見なども踏まえ、検討していきたい。</p> <p>3. 修繕については、予算を勘案し、優先順位の高いものから順次実施していきたい。</p>

2 所見評価(指定期間初年度、3～4年度目:文章による評価)(続き)

施設種別	施設名等	評価結果及び指定管理者評価部会の意見
③ 港湾・公 営住宅	<p>【施設名(指定期間)】 県営住宅等 (H29.4.1～R4.3.31)</p> <p>【指定管理者】 大分県住宅供給公社</p> <p>【担当部局】 土木建築部</p>	<p>【評価】</p> <p>1. 全国的に見ても高い水準に設定されている収納率の目標値を達成していることは評価できる。</p> <p>【意見】</p> <p>1. 苦情トラブル対応等についてはマニュアル化して共有し、全職員が対応できる体制づくりが必要である。</p> <p>【施設所管課に対する意見】</p> <p>1. 入居率が下がっている中、住人のニーズ変化や市町村営住宅との連携・役割分担なども踏まえ、地域全体としてどのような住宅サービスを提供するかを、公営住宅以外の施策も視野に入れて考える必要がある。</p> <p>2. 入居率を上げるうえでも、設備の老朽化には適切に対応するべきで、現状に見合った予算化を検討してほしい。</p> <p>【対応案】</p> <p>1. 苦情トラブル対応については、日々の対応記録を书面化し共有化を図ることで、職員全体のノウハウの蓄積・対応力向上に努めているところであるが、制度上定められている事項に関する内容や、内容を類型ごとに整理できるものなどについてはマニュアル化を進めていく。</p> <p>【施設所管課に対する意見対応案】</p> <p>1. 現在、県、市町村、住宅供給公社が共同で「公営住宅マスタープラン」を策定中であり、県及び市町村が管理する公営住宅のあり方について、地域の実情や特性、高齢者や子育て世帯等の住人のニーズなどを考慮しながら、総合的に施策を検討していく。</p> <p>2. 設備の老朽化に対しては、「既設県営住宅改善事業」により給水管更新や外壁・防水工事等を計画的に行っている。さらに、施設全体の修繕については、「県営住宅ストック活用推進事業」により、R1～R3年度の3カ年で約150棟の応急修繕を実施予定であり、引き続き、住民が安心して暮らせる住環境の整備に取り組んでいく。</p>

1 中間評価(5段階評価:指定期間2年度目)

施設種別	施設名等	評価段階	評価項目(得点/配点)					合計得点	評価ランク	
		所管課評価 部会評価	目標指標等 設置目的の達成	利用者の 満足度	経費の低減	収入の増加	職員育成 地域等連携			平等利用 安全・危機管理
④ 文化・コ ンベン ション	【施設名(指定期間)】 大分県立総合文化センター 大分県立美術館 (H30.4.1~R5.3.31)  【指定管理者】 (公財)大分県芸術文化スポーツ振興財団  【担当部局】 企画振興部	評価結果及び指定管理者評価部会の意見								
		所管課評価	16/20	20/20	12/20	6/10	12/15	12/15	78	C
		部会評価	16/20	16/20 ↓	16/20 ↑	8/10 ↑	12/15	12/15	80 ↑	B ↑
		【評価】	<p>1. 収入減少の主な要因が、国民文化祭開催時の団体バス利用が多かったことによる駐車場料金収入の大幅減という特殊事情である一方、施設稼働率は向上し、施設利用料金収入は増加しており、指定管理者のこれまでの努力の成果として評価できる。また、印刷消費費や委託料等の経費削減にも努めており、適切な管理運営がなされている。</p> <p>2. 回収している来館者アンケートの満足度は高いが、来館者数に対してサンプル数が数パーセントと少なく、十分に意見収集できているとは言えない。</p>							
	【意見】	<p>1. 来館者アンケートの回収率を上げる工夫をし、来館者の意見を反映させることで、さらに満足度の高い施設にしていきたい。</p>								
	【対応案】	<p>1. 美術館では、気軽に、多くのご意見をいただくため、スマートフォンによるアンケート入力システムを構築し、今年度から運用を開始した。引き続き、アンケートの回収率を引き上げるための工夫をしながら、来館者の意見を分析の上、施設の運営に反映させることにより満足度を高めていきたい。</p>								

2 所見評価(指定期間初年度、3～4年度目:文章による評価)

施設種別	施設名等	評価結果及び指定管理者評価部会の意見
④ 文化・コンベンション	<p>【施設名(指定期間)】 大分県立別府コンベンションセンター (H26.4.1～H31.3.31)</p> <p>【指定管理者】 ビーコンプラザ共同事業体</p> <p>【担当部局】 商工観光労働部</p>	<p>【評価】</p> <p>1. <u>施設稼働率は目標値に達していないものの、利用者数は増加傾向にあり、施設所管課と連携した積極的な誘致活動等の成果として評価できる。</u></p> <p>【意見】</p> <p>1. <u>エントランスホールの広い空間を県民・市民が日常的に使えるようにできないか。</u></p> <p>2. アンケートのサンプル数が少ない。<u>より多くの意見をくみ上げられるようなアンケートの取り方を検討してほしい。</u></p> <p>【施設所管課に対する意見】</p> <p>1. <u>ツーリズムおおいた事務所跡地の利活用を指定管理者とともに早急に検討するべきである。</u></p> <p>2. 利用団体の公益性によって料金設定を変えるなど、会議室の利用料金について柔軟な設定を検討できないか。</p> <p>3. 施設の老朽化などは指定管理者だけの努力では対応が難しい。設備や広報等の様々な面で施設所管課の支援が必要である。</p> <p>4. RWCの広告のように、今後も<u>グローバルタワーを広告媒体として活用できないか。</u></p> <p>5. 各地に建設されているコンベンションセンターとの競争など現状を踏まえたうえで、<u>市場の中での施設の立ち位置をゼロベースで検討してもいいのではないか。</u></p> <p>【対応案】</p> <p>1. <u>エントランスホールは災害時の避難経路であり、また、各ホールや会議室で開催されるイベント・大会にも配慮する必要があるため、制度としては貸し出しを行っていない。しかしながら、コンベンションホールやフィルハーモニアホールを利用する主催者に対しては、受付等のスペースとしてエントランスホールの利用を認めているほか、指定管理者の自主事業である夏祭りの会場として、子どもたち向けのつみき広場や、ワークショップを開催するなどしている。今後も市民の利用ニーズを踏まえつつ、ホール等の利用者の意向に配慮しながら、柔軟な活用を検討していきたい。</u></p> <p>2. <u>これまでイベント主催者へのアンケートについては、担当職員による聞き取りや、アンケートを郵送し、事後返送による方法で実施してきた。今後は、主催者の利用申込時にアンケートへの協力について事前に依頼するとともに、アンケートの回答方法については、QRコードによるネットを介した方法を導入するなど、回答しやすい仕組みを検討したい。</u></p> <p>【施設所管課に対する意見対応案】</p> <p>1. <u>今後の利用方法については、指定管理者からも提案をもらって協議を進めているところ。もともとレストランが入っていた場所で、まだ設備が残ったままとなっているため、大規模な改修も含めて協議、検討を進めていく。</u></p> <p>2. 利用料金減額規程を設けており、例えば、県内の学校が主催し、主に学生が出演する芸術文化催事では、20%の減額を適用している。また、公用若しくは公共用又は公益のための利用として、減額の必要が認められるものについても減額の対象となっている。</p> <p>3. 施設や設備の老朽化に関しては、指定管理者からの保全要望により計画的に更新を進めている。また、緊急性のある保全工事、更新についても関係所屬と調整を図り、速やかに対応している。施設の広報に関しては、昨年度から県としても誘致活動に取り組み、宇宙技術と科学の国際シンポジウム（I S T S）のような大規模な国際会議の誘致に成功したところ。今後は県の他部局とも連携し、引き続き指定管理者とともに広報、誘致に取り組んでいきたい。</p> <p>4. <u>RWCにおける県全体での盛り上げを行うため、今回は広告利用を許可したが、グローバルタワーの広告塔としての利用に関する利用料金等の規定はなく、通常は利用許可していない。しかしながら、今回のRWCの広告塔としての活用を機に、公共性のあるものについては、安全性も考慮しながら活用していきたい。</u></p> <p>5. <u>ビーコンプラザの特徴としては、大型のアリーナや国際MICEが可能な会議室、交流会等の会食にも使用できるレセプションホールなど、複数の施設があり、大規模なMICEにも対応ができることである。また、コンベンションホールのコンサートは、ドームにはない臨場感で楽しめる会場として人気がある。他方で、各地に競合するコンベンション施設の建設も相次いでいることから、その比較優位性などの検討を改めて行い、今後の施設の活用について検討していきたい。</u></p>

2 所見評価(指定期間初年度、3～4年度目:文章による評価)(続き)

施設種別	施設名等	評価結果及び指定管理者評価部会の意見
⑤ レクリ エーショ ン	<p>【施設名(指定期間)】 大分県長者原オートキャン プ場 大分県長者原園地 (H26.4.1～H31.3.31)</p> <p>【指定管理者】 (有)吉武建設</p> <p>【担当部局】 生活環境部</p>	<p>【評価】</p> <p>1. 樹木などの自然環境の整備も含め、施設管理が徹底されている。指定管理者の努力が利用者数や収入の増加につながっていることは高く評価できる。</p> <p>【意見】</p> <p>1. <b>ホームページの写真やテキストが少なく、せつかくの魅力を伝えきれていない。</b>内容を充実させ、もっと活用した方がよい。</p> <p>2. <b>SNSはターゲット層に合う媒体を活用するとともに、タイムリーな更新がより効果的</b>であることから、施設内で管理運営できる仕組みを検討してはどうか。</p> <p>3. より利用実態に沿う取組を進めるうえでも、利用者の年代や構成、利用動機、目的などを網羅的に把握するべき。<b>アンケートの精度と回収率を上げる</b>とともに、受付時に聴取するなど無理なく効率的に確認する方法も検討してはどうか。</p> <p>【対応案】</p> <p>1. <b>写真を多く掲載したり、施設情報を充実するなど、ホームページの内容の充実を図りたい。</b></p> <p>2. <b>ターゲット層に適した効果的なSNSの活用や、施設内で管理運営できる仕組み等</b>を検討したい。</p> <p>3. <b>アンケート内容に、利用者の年代や構成などを設けるとともに、受付時に聴取するなどアンケートの回収率を上げる方法</b>を検討したい。</p>



2 所見評価(指定期間初年度、3～4年度目:文章による評価)(続き)

施設種別	施設名等	評価結果及び指定管理者評価部会の意見
⑤ レクリ エーショ ン	<p>【施設名(指定期間)】 おおいた動物愛護センター ドッグラン・多目的広場 (H31.2.1～R3.3.31)</p> <p>【指定管理者】 九州乳業(株)</p>	<p>【評価】</p> <p>1. 開設されたばかりの施設で、管理運営方法等について試行段階ではあるが、施設所管課とともに円滑な施設運営に努力していることは評価できる。</p> <p>【意見】</p> <p>1. Googleに登録するなど、ドッグランを利用したい人が<b>ネット検索した時に表示される仕掛けをしてはどうか。</b></p> <p>2. <b>来場者の内訳や犬種別稼働率など、有益と思われるデータを収集・分析し、今後の取組や有効活用につなげてほしい。</b></p> <p>【施設所管課に対する意見】</p> <p>1. <b>熱中症対策設備の整備を検討するべきでないか。</b></p>
	<p>【担当部局】 生活環境部</p>	<p>【対応案】</p> <p>1. <b>Googleへの登録は完了した。ドッグランのページはおおいた動物愛護センターに紐づいているため「大分 ドッグラン」での検索でも上位表示がされる。今後とも検索にかかりやすくなるよう努力していきたい。</b></p> <p>2. <b>現在はゾーン別の利用状況は把握できているが、集計結果を有効利用できているとまでは言えない。今後は、データ集計を利用促進に結び付けられるよう改善していきたい。</b></p> <p>【施設所管課に対する意見対応案】</p> <p>1. <b>熱中症対策のため、タープやミストシャワーを設置した。今後も、状況を見ながら、必要な設備について検討していきたい。</b></p>

2 所見評価(指定期間初年度、3～4年度目:文章による評価)(続き)

施設種別	施設名等	評価結果及び指定管理者評価部会の意見
⑤ レクリ エーショ ン	<p>【施設名(指定期間)】 大分県青少年の森 大分県平成森林公園 大分県神角寺展望の丘 (H26.4.1～H31.3.31)</p> <p>【指定管理者】 (公財)森林ネットおおいた</p>	<p>【評価】</p> <p>1. 幅広く意見収集するために、アンケート回答者にくじ引きをして粗品を贈呈するなどの工夫をし、利用者の意見を施設の改善や運営に活かそうとしている姿勢は評価できる。</p> <p>【意見】</p> <p>1. <u>ウェブサイトがスマホ対応になっていないので、改善するべきである。</u></p> <p>2. <u>ホームページで知りたい情報がすぐに見つからない。</u> アクセス方法や広い敷地内のマップなど、まだ利用したことがない潜在的な顧客を喚起できる情報発信が必要。カテゴリー化するなどして、使いやすさ、見やすさをもっと工夫してほしい。</p> <p>3. アンケートを細かく取っていて、回収率も高い。今後は年代別の利用状況も分析に加えるなど、<u>得た情報をクロス分析をすることで、優先順位のついた改善策を見だし、利用者増加につなげてもらいたい。</u></p> <p>【施設所管課に対する意見】</p> <p>1. <u>コテージが1棟しかなく、予約が取りにくい。</u> 需要が高いと思われるので、<u>増設できないか。</u></p>
	<p>【担当部局】 農林水産部</p>	<p>【対応案】</p> <p>1, 2. <u>今年度ホームページを改修する計画であり、その中で対応したい。</u></p> <p>3. <u>分析方法について研究し、利用者増加につなげていきたい。</u></p> <p>【施設所管課に対する意見対応案】</p> <p>1. <u>近年のキャンプブームの流れを受け、コテージの利用はもちろん、バーベキューなど日帰りでの利用や持ち込みテントでの利用も増加している。そのような中、施設の老朽化等を指摘する利用者の声も増えていることから、まずは既存施設の改修等を進め、新たな施設整備についても検討していく。</u></p>

2 所見評価(指定期間初年度、3～4年度目:文章による評価)(続き)

施設種別	施設名等	評価結果及び指定管理者評価部会の意見
⑤ レクリエーション	<p>【施設名(指定期間)】 ハーモニーパーク (H28.4.1～R3.3.31)</p>	<p>【評価】</p> <p>1. <u>企業や学校等への積極的なアプローチやイベント開催など、公園エリアの入園者増加に向けた取組は評価できる。</u></p> <p>【意見】</p> <p>1. <u>不審者対策に万全を期してもらいたい。</u></p> <p>【施設所管課に対する意見】</p> <p>1. <u>実証展示林について、目的は集客することなのか、維持することなのかなど、そもそもどうすべきなのか、その必要性も含めて、より現実的な管理のあり方を検討するべきである。</u></p>
	<p>【指定管理者】 (株)サンリオエンターテイメント</p> <p>【担当部局】 土木建築部</p>	<p>【対応案】</p> <p>1. <u>来期、監視カメラの改修(増設)を計画しており、監視体制を強化する。映像は、事務所やインフォメーション各エリアのパソコン端末で見ることが出来、現在約30名の無線保持者が園内業務及び巡回をしており、映像と無線を駆使し社内全体での不審者対応が可能となる。また、ダミーの監視カメラも増設し抑止効果を高める。</u></p> <p>【施設所管課に対する意見対応案】</p> <p>1. <u>実証展示林については、維持管理をベースとしつつ、昨年度の評価部会の意見も踏まえ、今年度は抜本的な検討に取り組んでいる。具体的には、竹林資源の活用団体及び観光事業者との協議、(株)サンリオエンターテイメント従業員とのワークショップを開催するなど、指定管理の内容も含めた今後の管理のあり方について検討を進めているところである。</u></p>

2 所見評価(指定期間初年度、3～4年度目:文章による評価)(続き)

施設種別	施設名等	評価結果及び指定管理者評価部会の意見
⑥ 社会福祉	<p>【施設名(指定期間)】 大分県社会福祉介護研修センター (H28.4.1～R3.3.31)</p> <p>【指定管理者】 (社福)大分県社会福祉協議会</p> <p>【担当部局】 福祉保健部</p>	<p>【評価】</p> <p>1. 昨年度指摘した住宅改造モデル展示場の運営・周知方法等が改善されていることは評価できる。</p> <p>【意見】</p> <p>1. 福祉人材の不足が課題となっている中、昼間は福祉関係の仕事に従事してさらなるスキルアップを図りたいという人や、現在別の仕事をしているがこれから福祉の仕事をしたと考えている人などについて、<b>平日夜間研修のニーズがあると思われる。例えば週1日試験的に開催するなど検討してもいいのではないか。</b></p> <p>2. 福祉人材センターの求人票について、例えば手当を含む平均月額報酬や福利厚生などもしっかり記載するなど、見せ方を工夫できないか。</p> <p>3. 子どもの頃から福祉の世界に触れ、関わりを持つことは人材確保の面からも大切である。子どものための福祉講座はとても良い取組なので、拡大してほしい。</p> <p>【対応案】</p> <p>1. <b>平日夜間研修の開催については、ニーズがあるとされている人を対象とする研修について、夜間開催に変更した場合の講義時間や研修日程を示し、受講生の確保が可能か再度調査をしてみたい。</b></p> <p>2. 求人票は、全国社会福祉協議会(中央福祉人材センター)のシステムサーバーにより一元管理された全国共通様式である。賃金をはじめ各種手当や福利厚生に関する詳細な記載はあるが、レイアウトの工夫など利用者目線での表示について全国社会福祉協議会(中央福祉人材センター)に相談・要望したい。なお、求職登録者には、毎月の求人票をもとに、「事業所別ポイント項目一覧表(求人情報誌)」作成し、自宅に送付している。</p> <p>3. 子どものための福祉講座については、これまで、当研修センターや市町村社協等を通じ、小中高等学校あて開催案内・チラシ等による周知を行っていたが、今後はチラシ配布先を広げるなど広報の拡充を図るとともに、市町村社協と連携し、未実施の市町村への働きかけを強化したい。</p>

2 所見評価(指定期間初年度、3～4年度目:文章による評価)(続き)

施設種別	施設名等	評価結果及び指定管理者評価部会の意見
⑥ 社会福祉	<p>【施設名(指定期間)】 大分県母子・父子福祉センター (H28.4.1～R3.3.31)</p> <p>【指定管理者】 (一財)大分県母子寡婦福祉連合会</p> <p>【担当部局】 福祉保健部</p>	<p>【評価】</p> <p>1. 夏休みに和室を一般開放するなど、子どもの居場所づくりにも取り組んでいる運営は評価できる。</p> <p>【意見】</p> <p>1. ホームページでは来所相談しかできないという印象を受けるので、<b>電話相談も受け付けていることをホームページにはっきり表示した方がよい。</b></p> <p>2. 電話・来所相談者それぞれの市町村別割合や相談内容の傾向、変遷などのデータを整理し、今後の取組につなげてほしい。</p> <p>【対応案】</p> <p>1. <b>ホームページのトップ画面に電話相談が可能な旨を記載するように変更を行った。</b></p> <p>2. 相談者のデータを整理する様式を作成し、毎月、毎年度末での事業報告の際に活用することによって、相談ニーズの変化などを今後の母子・父子福祉センターの取組みに反映できるようにする。</p>

2 所見評価(指定期間初年度、3～4年度目:文章による評価)(続き)

施設種別	施設名等	評価結果及び指定管理者評価部会の意見
⑥ 社会福祉	<p>【施設名(指定期間)】 大分県聴覚障害者センター (H28.4.1～R3.3.31)</p> <p>【指定管理者】 (社福)大分県聴覚障害者協会</p> <p>【担当部局】 福祉保健部</p>	<p>【評価】</p> <p>1. ブログやSNS等で利用者の視点に立った情報発信を行っていることは評価できる。</p> <p>【意見】</p> <p>1. 県下全域でサービスを必要とする人にどれぐらい行き届いているか、施設の市町村別利用者割合などで把握する必要がある。その上で、相談やビデオ貸し出しなどのサービスを広域に行き渡らせる工夫をしてほしい。</p> <p>2. アンケート調査・分析を新たな取組につなげるよう工夫する必要がある。特に、<b>聴覚障がい者と支援者のアンケートはそれぞれ分けて分析するべきである。</b></p> <p>3. <b>ウェブサイトのスマホ対応を検討してほしい。</b></p> <p>【対応案】</p> <p>1. 現状では、アンケートの市町村名が、未記入の場合も多い。そのため、市町村名を選択式にする等、簡単に回答できる工夫を行い、市町村ごとの利用実態が把握できるように見直したい。あわせて、各市町村が設置する手話通訳者との連携を密にし、意見の収集に努める。また、センターホームページや各地区の聴覚障がい者向けの集会等を活用し、遠方の居住者へもFAX・メール等を利用した相談受付や郵送によるビデオ貸出等のサービス提供も可能であることを周知し、多くの人にサービスが提供できるよう取組を進めたい。</p> <p>2. <b>アンケート項目に当事者または支援者を選択できる項目を追加し、分けて分析できるようにする。また、昨年度に引き続き、センター利用者や各研修等参加者についての個別アンケートを行うことを通じて、各利用者属性に応じたより細かな課題や要望を抽出し、施設運営や事業改善につなげられるようにしたい。</b></p> <p>3. <b>令和2年度のサービス提案事業で、ホームページリニューアルを予定しており、その際にスマホ対応を行う。</b></p>

2 所見評価(指定期間初年度、3～4年度目:文章による評価)(続き)

施設種別	施設名等	評価結果及び指定管理者評価部会の意見
⑥ 社会福祉	<p>【施設名(指定期間)】 大分県身体障害者福祉センター (H28.4.1～R3.3.31)</p>	<p>【評価】</p> <p>1. 障がい者の利用を優先させつつ、障がい者利用と競合しない形で一般利用者の利便性を向上させ、施設稼働率を向上させている運営は評価できる。</p> <p>【意見】</p> <p>1. アンケート調査・分析を施設の改善につなげるよう工夫する必要がある。特に、<b>個人と団体のアンケートはそれぞれ分けて分析するべきである。</b></p> <p>2. <b>ホームページが、お知らせやイベントが羅列されているなど、全体的に見にくく、使いにくい。</b>体系的に整理するなど改善した方がよい。</p> <p>【施設所管課に対する意見】</p> <p>1. 障がい者と健常者の共存・交流促進を実践する取組を、県内全域に広げる方策を検討してほしい。</p>
	<p>【指定管理者】 (社福)大分県社会福祉協議会</p> <p>【担当部局】 福祉保健部</p>	<p>【対応案】</p> <p>1. <b>現行もアンケートは個人と団体に分けて実施しており、あわせて下記取組を実施したい。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>個人・団体利用者やイベント参加者ごとに、利用目的に応じたニーズの把握やその後の分析が容易となるようアンケート項目を見直す。(例えば、現行、体育室や会議室等利用者(団体)に対するアンケートで把握している設備面の満足度について、照明や空調、備品類などといった、個別具体的な設問項目に改めるなど)</b></li> <li>・ <b>アンケートの精度を高めるため、これまでも重複回答をできるだけ除外するため、教室参加者は、期間中一人1回の提出とし、体育室や温水プールの個人利用者には、期間を限定してアンケートを実施しており、このような取組を継続する。</b></li> <li>・ <b>アンケート結果を施設運営に反映させるため、定期的に集約し、所内で情報共有する取組を充実・強化していく。</b></li> </ul> <p>2. <b>誰もが利用しやすいホームページを目指し、見やすさはもちろん、必要な情報へのアクセスが容易となるよう構成の見直しを検討したい。</b></p> <p>【施設所管課に対する意見対応案】</p> <p>1. センターの運営方法や取組に関し、指定管理者と連携して、県内全域への周知に努める。</p>